

## ◆今期間のポイント

## ＜主要じょう乱の概要＞

- 5月3日から4日にかけて、低気圧が日本海から千島近海へ進み、低気圧からのびる前線が日本付近を通過して沖縄の南に南下する。
- 5日から7日は、高気圧が本州付近から日本のはるか東に移動し、前線が日本の南から沖縄・奄美付近にのびる。

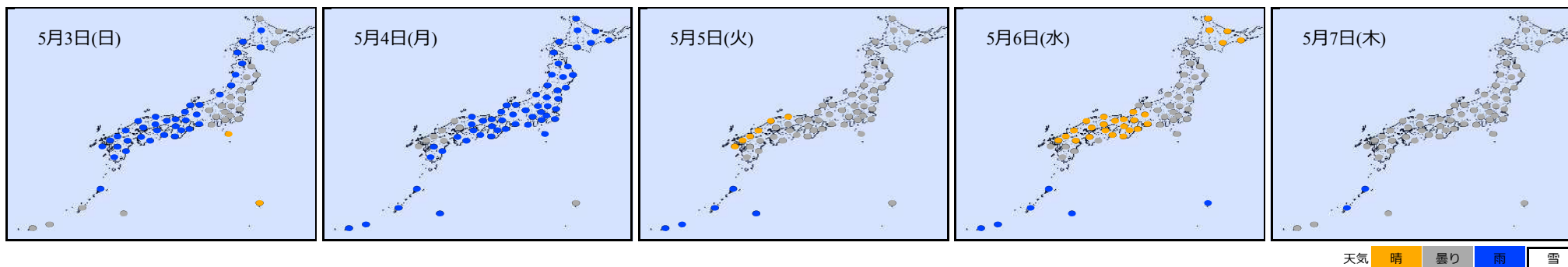
## ＜防災事項＞ 11時、17時発表の早期注意情報に合わせて当項目は修正する場合があります。

- 3日は、発達する低気圧の影響で西日本では荒れた天気となり、低気圧の発達程度等によっては大荒れとなる可能性がある。

※最新の早期注意情報、気象情報、台風予報も参照ください。

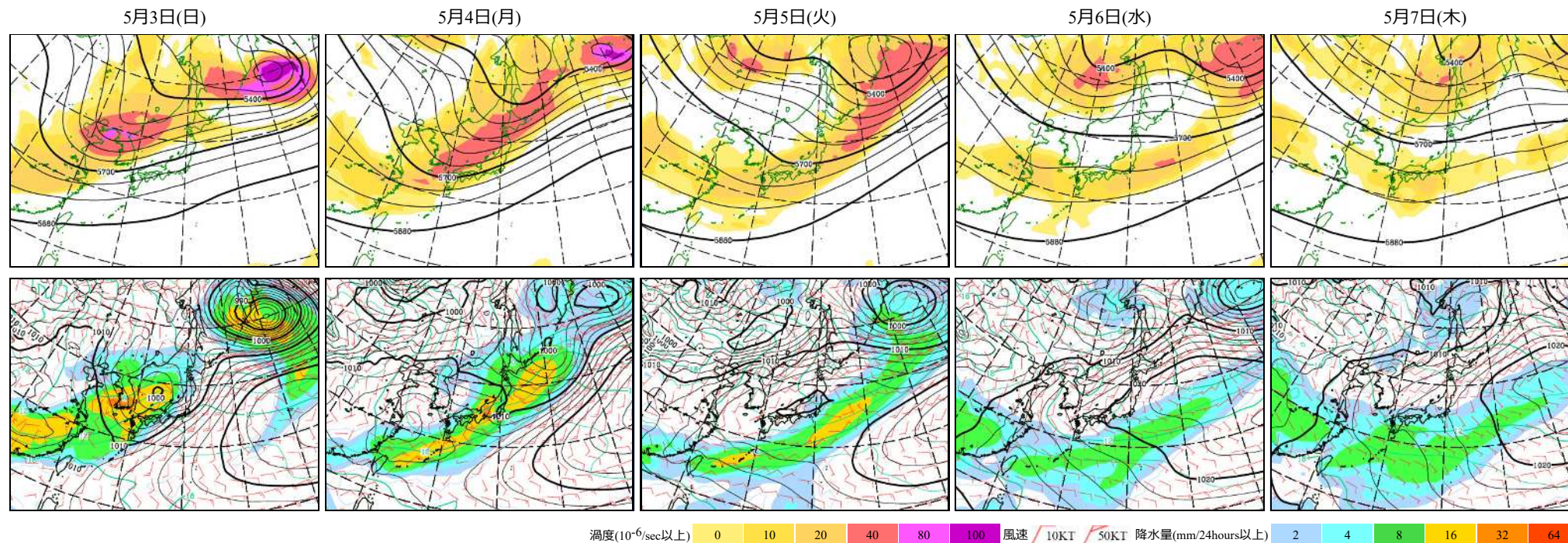
以下の資料は、気象事業者等が、気象庁の提供する週間天気予報の根拠を理解するための補助資料であり、そのままの形式で一般に提供することを想定して作成したものではありません。

## ◆10時時点の3～7日目の天気予報案 (11時以降は気象庁HP等にて発表予報をご利用ください。)

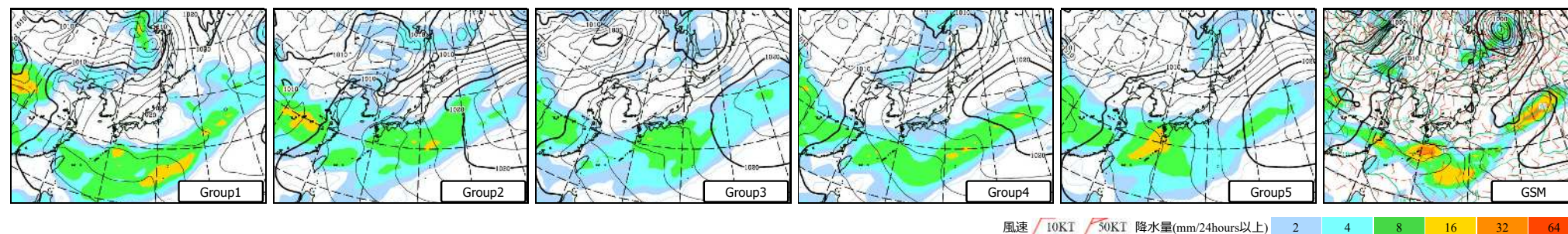


- 北日本と東日本は、曇りや雨の降る日が多いが、5月6日は晴れる所がある。
- 西日本は、曇りや雨の降る日が多いが、5日と6日は晴れる所がある。
- 沖縄・奄美は、曇りや雨の降る日が多い。

◆アンサンブル(ENS)平均予想図 上図：500hPa高度線、渦度 下図：海面気圧、地上風、前24時間降水量(21時)



◆5月7日のENSクラスター平均(グループ1~5)とGSMの地上予想図 海面気圧、地上風(GSMのみ)、前24時間降水量(21時)



◆昨日資料からの変化と予想のばらつき

- 最新のアンサンブル資料 (ENS) は、3日は、日本海の低気圧が強くなった。5日は、本州付近の高気圧が強くなった。
- 降水確率ガイダンスの値は、4日に北日本から東日本で大きくなった。
- 3日から4日にかけて低気圧が日本海から千島の東に進み、4日から6日にかけて高気圧が東シナ海から日本の東に移動することは、モデル間で揃っているが、期間後半の日本の南の前線の位置にはモデル間の差がある。
- スプレッドは期間を通して比較的小さい。

◆ENSからの修正点とサブシナリオ等の補足事項

- 予報は、おおむね最新のENSを基に考える。